

PCSA アクションレポート（人事問題研究部会）

令和 1 年 8 月版

第 185 回人事問題研究部会

開催日時 令和 1 年 8 月 2 日（金） 午前 11 時～午後 3 時
開催場所 TKP 上野駅前ビジネスセンター 4A
出席人数 部員 4 名、正会員オブザーバー 1 名、合計 5 名
出席者 <リーダー>
志賀 健太郎 株式会社ニラク 人財開発部 人事労務グループマネジャー
<サブリーダー>
木内 克宏 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 組織戦略部
<部員>
塩田 英紀 株式会社ヒカリスistem 東寺山店 ストアマネジャー
小泉 和義 株式会社三永 管理部 総務課 課長
<正会員オブザーバー>
佐藤 千恵 株式会社セントラル伸光 営業部 課長（コスト問題研究部会 リーダー）

1) 6 月 RPA 勉強会 振り返り

<概要>

開催日時：令和 1 年 6 月 14 日 午後 1 時 30 分～午後 3 時

講師：株式会社クレオ様

テーマ：「RPA のはじめ方！！ CREO-RPA のご紹介」

<意見>

- ・RPA 初心者向けという内容で株式会社クレオ様に依頼した。その為、すでに既知の方には物足りない内容ではなかったか。
- ・こういった会合があれば参加したいと当社からの参加者から聞いた。
- ・今回の会合に参加した当社社員は元々ホールを担当していたが、得意な分野という事で RPA を担当している。
- ・当社ではシステムを導入している事もあり、他社の導入事例を当社会議で報告した。
- ・遊技台の稼働や動きを他社と比較する業務を自社でやっているが、中々形にならず人材が必須と考えている。
- ・RPA を活用するための人材育成が必須という事であった。
- ・競合他社の情報を入力して共有しているが、その仕組み自体の更新も継続が必須。内製化するよりは専門家に依頼する方が現時点ではコスト的に良い。
- ・実際に導入している会社の効率向上を目の当たりにすれば導入に動く可能性もある。各社の導入事例を共有できるのであれば、ご協力いただきたい。

2) 7 月 拡大人事問題研究部会 in 大阪 振り返り

<1 日目>

開催日：令和 1 年 7 月 11 日

時間：午後 2 時～5 時

場所：ダイナム大阪統括事務所

テーマ：労政時報勉強会「大規模災害対策 BCP」

<意見>

- ・労政時報勉強会「大規模災害対策 BCP」では、株式会社ダイナムのご担当者にお話を伺った。
- ・大規模災害対策が準備できていないことを痛感、今後、対応していきたい。
- ・大規模災害にたいするリスクヘッジと企業をどう継続させていくのかを話してもらった。
- ・様々なリスクに対する初動対応が一番重要。
- ・訓練は定期的実施しており、大震災対策のマニュアルはある。
- ・東日本大震災後の安否確認に苦労した経緯から安否確認のシステムを導入、年に 2 回ほどの模擬訓練を実施している。
- ・1 時期、災害用飲料水をホールで備蓄していたが、継続はしていない。
- ・当社では、災害用飲料水や食料を常に備蓄、更新している。また、消費期限が近づいた物品は、東京都を窓口に必要な人に配布している。
- ・景品の食料、飲料を非常時に供出するかなども話題になった。出す企業、出さない企業など様々。
- ・当社では、景品の食料、飲料を非常時に供出するかどうかは、店長の判断による。

<2 日目>

開催日：令和 1 年 7 月 12 日

時間：午前 9 時～正午 1 時

場所：晋陽グループ本社

テーマ：人事問題研究部会 質問コーナー in 大阪 2019.7

Q 1：社員教育に関して（社会人的教育）

業務以外の社会人的知識（簡単な税の仕組み・社会保険の仕組み）の教育は、他の企業ではどのように行われているか？アルバイトスタッフからの質問に対して全く答えられず、本社に返答を仰ぐケースが散見される。業務的・業界的・地域的に狭い範囲でしか日常生活を送っていない事が原因であるのか。本人の意識の問題でもあろうが、他社では特別な取り組みをされているのか？

Q 2：不正問題が発覚した時の再発防止のための周知徹底方法

店舗まで告知するか？実名で告知するか？

Q 3：男性の育休取得について

【背景】

インクルージョン&ダイバーシティや女性活躍推進が叫ばれて久しいですが、今後のダブルケアの問題や子育て世代の女性が社会に出て働くには、配偶者の育児・介護への参画、積極フォローが必須だと思います。

【質問内容】

- ①男性従業員の育児休業取得状況や制度の整備状況について
- ②賃金補償や特別有給化など、男性の育児休業取得の促進策として会社として行っていること
- ③くるみん取得やイクボス宣言などを利用した外部発信と社内へ向けた会社の姿勢についての発信状況など。

Q 4 : メンタルヘルス対策

- ①うつ病になられた方の対応について、各社どのようにされているのかをお聞きたいです。
 ※弊社でもうつ病(自律神経失調症)を患い、おやめになる方が数名おられました。
 弊社のアルバイトの休職期間が1ヶ月のため、その後は自然退職となります。
 休職期間についても各社のご対応をお聞かせいただければと存じます。
- ②従業員用の相談窓口の設置についてまた従業員の利用状況について
 ※弊社も相談窓口を設置しているが利用はされていません。参加企業様の相談窓口は外部なのか自社なのかもお聞きたいです。

Q 5 : 「最低賃金引き上げ&消費税 10%対策」

消費税増税対策、最低賃金引き上げに対して、給与のベースアップを実施した。その後の対応について

<全体に対する意見>

- ・地方開催で部会2日間は時間がとれて非常に良かった。成功だと考える。
- ・ストアコンパリゾンを必須としないのは悪くない。
- ・ストアコンパリゾンでも、労務管理等の観点から店舗のバックヤード見学の価値はあり、内容に応じて
- ・定期的な大阪開催も検討していきたい。

3) 11月拡大人事問題研究部会 in 愛知・女性活躍推進情報交換会

<概要>

開催日：11月7日（木）～8日（金）

開催場所：愛知県

目的：女性活躍推進情報交換会 開催、めいほうぐるーぷ 訪問

スケジュール：1日目 託児所訪問見学、めいほうぐるーぷ本社 見学、講演、ディスカッション、発表

2日目 夢コーポ 本社訪問、社内見学、拡大部会（前日振り返り、質問コーナー）

・女性活躍推進の取り組みを積極的に進めている、めいほうぐるーぷ様の訪問を依頼、現在、訪問を交渉中。

4) 2月拡大人事問題研究部会 in 大分・健康経営勉強会

<概要>

開催日：2月13日（木）～14日（金）

開催場所：大分県

目的：健康経営勉強会 開催、ビープラスグループ株式会社 訪問

・厚生労働省の「安全衛生優良企業公表制度」（通称：Wマーク）を取得したビープラスグループ株式会社様の訪問を依頼、現在、訪問を交渉中。

5) 労政時報勉強会 「人件費削減施策」

担当：木内 克宏 サブリーダー アメニティーズグループ

- ・コストの高い人件費、更に人手も足りていない、どうすべきか。
- ・各社の状況を比較する為に、人件費の勘定科目や労働指標を事前アンケートや「労政時報」の記事をもとに確認。

<意見1>

「採用教育費の削減」

<現状、理由1>

- ・パチンコ業界における新卒採用に係る費用 200～400 万円。
- ・合同説明会や媒体費用、研修費などにかかり掛かる。合同説明会への参加回数や取引先の提示金額が妥当か（相見積もり）等、再検討が必要。
- ・新卒採用で、入社前と入社後のギャップが退職の理由となっている。入社前の施策を再度検討すべき。

<意見2>

「制服費用の削減」

<現状、理由1>

- ・コスト高な制服は本当に必要なのか。シンプルな制服で毎日清潔な方がコスト低めで良い。
- ・冬服、夏服と2種類用意しているが、通年で使用できるように改善策を検討。
- ・退職者の制服の再利用で経費削減。
- ・制服クリーニングや制服自体にかかるコストを見直すべき。

<意見 他>

- ・本社人員の見直し削減。
- ・手当や交通費などの見直し。
- ・閉店後の作業を次の日の朝方に持ってくることで深夜割増の削減。

6) 次回開催

開催日：令和1年9月13日（金）

時間：午前11時～午後3時

開催場所：TKP 上野駅前ビジネスセンター 8A （8階）

以上